



日本最大級

スポーツランド
みやざき！

ひなた宮崎県総合運動公園

総面積154haの中に広がる松林と500種42万本もの花や木、21の施設があり、日本最大級の運動公園施設です。プロスポーツチームのキャンプや全国規模の各種大会に活用されています。



日本初指定



日南海岸国定公園
(海域公園地区)

昭和45年に初めて指定された海域公園のひとつ。透明な海水を通して、さんごや熱帯魚を見ることができます。

収穫量・栽培面積
日本一

きんかん (令和元年産)

完熟きんかんのうち糖度16度以上が「たまたま」、糖度18度以上が「たまたまエクセレント」として出荷されます。

収穫量・栽培面積
日本一

日向夏 (令和元年産)

宮崎県原産の柑橘。黄色い皮を薄くむき、白いワタの部分も果肉と一緒に食べます。

収穫量・出荷量
日本一

きゅうり (令和2年産)

特に、冬春きゅうりの収穫量は、全国の約2割を占めています。



日本初指定

霧島錦江湾国立公園

昭和9年に初めて指定された国立公園のひとつ。公園内のえびの高原周辺は、世界唯一のノカイドウ自生地です。



産出額・飼養羽数
日本一

ブロイラー (令和2年実績・令和3年2月1日現在)

ブロイラーは安くて質の良いタンパク質のとれる魅力的な食材で、宮崎県の産出額は全国の約2割を占めています。

加工向出荷量
日本一

ほうれんそう・だいこん・さといも (令和2年産)

加工向け用途の出荷量は、ほうれんそうは全国の約7割、大根は約2割、さといもは約8割を占めています。

購入頻度支出金額
日本一

ぎょうざ (令和3年家計調査)

宮崎市のぎょうざの年間購入頻度、支出金額は日本一。材料となる食材が豊富な宮崎県では、安くておいしい多種多様なぎょうざがたくさんあります。

豊かな自然と観光資源

宮崎の1番

安全・安心で豊かな食材

日本最大級

ジャカランダの群生林
世界三大花木のひとつ。ブラジル県人会の方から種を譲渡され、日南市南郷町の宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場に植栽しました。5~6月に青紫色の花を咲かせ、県内外から観光客が訪れています。

日本最大級

照葉樹天然林

綾町のカシ・シイ・タブなどの天然林による豊かな照葉樹林は、日本最大級です。平成24年7月に、ユネスコエコパークに登録されました。

(裏面有)

漁獲量
日本一

近海かつお一本釣漁業・沿岸まぐろはえ縄漁業 (令和2年)

近海かつお一本釣漁業は、平成6年以降連続日本一。宮崎県は漁業も盛んです。

完全養殖
日本初

シロチョウザメ

平成16年度に国内初となるシロチョウザメの完全養殖に成功し、平成23年度には、日本一のチョウザメ産地にまで成長。平成25年度には、国産で唯一の本格熟成キャビア「MIYAZAKI CAVIAR 1983」としてついに商品化されました。そして平成28年度には、国産で初めて海外(香港)に輸出されました。

日本唯一

海幸彦を祀る潮嶽神社
日南市北郷町の潮嶽神社は、日本で唯一海幸彦を主祭神としています。地区内では縫い針を他人に貸さない風習があるなど、海幸・山幸伝説が多く伝わります。

日本一多

国指定重要無形民俗文化財 神楽

神楽は五穀豊穡や豊漁(豊猟)を感謝し、1年の生活の安定を祈る集落の祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている神楽の数は全国一となっています。

日本最大

帆立貝形古墳 男狭穂塚

西都市の男狭穂塚は、全長約176m、後円部直径約132m、後円部高さ約19mで、帆立貝形古墳としては日本最大。宮内庁陵墓参考地となっています。

日本一

生産額ベース食料自給率

生産額ベース食料自給率とは食べ物の価格を使って食料自給率を計算する方法です。令和元年度の都道府県別食料自給率において、22年連続で生産額ベース食料自給率が日本一となりました。

日本一

宮崎牛

5年に1度の和牛のオリンピックである「全国和牛能力共進会」の宮城県大会(平成29年9月)で、本県勢は9部門中3部門で全国1位となりました。さらに、肉牛の部では最高賞である内閣総理大臣賞を獲得しました。本県の受賞は3大会連続で、累計4度の獲得は全国最多です。また、アカデミー賞授賞式のアフターパーティーにおいて、3年連続で採用されました。

オンラインワン

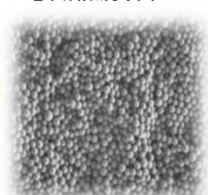
宮崎から最先端技術を発信するモノ作り企業

世界オンラインワンの素材であるSPG（シラス多孔質ガラス）膜による膜乳化技術を活用した機器を製造する企業や、小型化・高性能化するスマートフォン等の電子機器に使用する世界最小のはんだパウダーを製造する企業など、キラリと光る技術を持つ企業が宮崎の地でがんばっています。

SPG膜・膜乳化キット



はんだパウダー(粒径3μm)の電子顕微鏡写真



オンラインワン

宮崎県の気候

(1991~2020年平年値)

宮崎県の年間平均気温は約17度で、一年を通じて温暖な気候です。日照時間が多い反面、降水量も多いという特徴があり、緑豊かな自然を形成しています。また、冬になると山間部では雪が降る所もあり、五ヶ瀬町には日本最南端のスキー場があります。



普及率日本一

太陽熱温水器

(平成30年住宅・土地統計調査)

太陽熱温水器の普及率は、全国1位。また、太陽光発電システムの普及率は全国3位で、まさに「日本のひなた」を裏付けています。



企業が元気なみやざき

トップシェア

世界最先端の技術が集まる東九州の物流拠点

細島港には、国産材の製材工場として国内最大の企業や、世界シェア1位となるリチウムイオン二次電池の材料を製造する企業など、世界最先端の技術を有する企業が多く集積しています。今後の港や道路などのインフラ整備により、さらなる企業進出が期待されます。



(裏面有)



暮らしやすいみやざき

日本一長

共働き世帯における夫の家事関連時間

(平成28年社会生活基本調査)

共働き世帯のうち、子供がいる夫の家事関連時間は全国平均の約1.3倍の長さとなっており、日本一です。家事関連時間の内訳は「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」となっています。

消費者物価

(令和2年小売物価統計調査)

宮崎県の令和2年平均消費者物価地域差指数は95.9(全国平均=100)で日本一の低さになっています。モノが安だけでなく、海と山の新鮮な幸が大変豊富です。

日本一安



出荷量日本一

宮崎の本格焼酎(2020酒造年度)

宮崎の焼酎は、芋・米・麦・そば、さらには粟など原料が多彩であることが特徴です。宮崎県産の出荷量は7年連続で日本一を誇っています。

「宮崎の本格焼酎」は宮崎県産の本格焼酎の総称で、地域団体商標(地域ブランド)として特許庁に登録されています。

また、令和3年家計調査における宮崎市の焼酎の年間購入頻度・支出金額は日本一です。

出荷量日本一

スイーツピー(令和元年)

宮崎県のスイーツピーは、温暖多照な天候を活かし、出荷量日本一です。他産地にはない宮崎オリジナル品種が多数生産されています。

生産量日本一

都城大弓 都城木刀

都城地域で作る大弓・木刀(武道具)は、全国生産量の大多数を占め、卓越した技術は国内外の愛好家から高く評価されています。都城大弓は、国の伝統的工芸品の指定を受けています。

生産量日本一

スギ素材(令和2年)

スギ素材(丸太)の生産量は、平成3年以降、30年連続日本一。特に都城市内には、生産されたスギ素材を効率的に加工する大型の製材工場が集積し、国内有数の国産材供給基地となっています。また、製材品出荷量も初の日本一となりました。

全国に誇る宮崎県産品

生産量トップシェア

特徴あるみやざき茶(釜炒り茶)(令和2年)

釜炒り茶は、国内の緑茶生産量の1%以下で希少性が高く、その生産量は全国の約3割を占めています。県の西北山間地域を中心に生産され、全国茶品評会等でも例年優秀な成績をおさめており、名実ともに日本一の産地です。

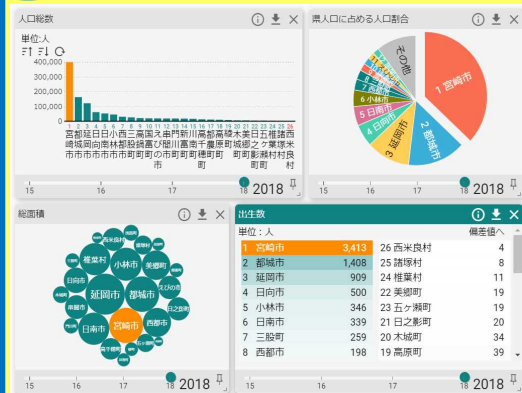
オンラインワン

日向はまぐり碁石

日向市は蛤碁石の全国唯一の生産地であり、本蛤特有の細かな縞目が美しく、色、光沢ともに最上と評されています。

耳より話

統計データWebサイト「みやざき統計BOX」公開中！！



○宮崎県及び全国の統計データ約6,200項目を簡単な操作で可視化(グラフ化)することができます。ぜひご活用ください！！

みやざき統計BOX 検索

https://viz.stat.pref.miyazaki.lg.jp

○お問合せは、県統計調査課(0985-26-7042)まで

